

兵庫県保険医協会文化部 特別企画 第4回落語会 ご案内



初笑い！新春保険医寄席

日時 2017年1月14日(土) 17:00～19:00 (16:30開場)

出演 しょうふくてい ちくりん
笑福亭 竹林



奈良県吉野郡上北山村生まれ。1980年6代目笑福亭松鶴に入門。本業の他、スキーインストラクター、子育てに関する講演会など幅広く活躍。大阪民主新報に『箸がこけても笑いたい』を連載中。

かつら はなだんじ **初来演!**
桂 花團治



大阪府豊中市生まれ。1982年2代目桂春蝶に入門。「桂蝶六」を名乗る。2015年4月、70年ぶりの名跡復活となる「三代目 桂花團治」襲名。大阪府保険医協会発行の『大阪保険医雑誌』に『口(らくご)は賑わいのもと』を連載中。

料金 500円(自由席/着物の方は無料)

会場 兵庫県保険医協会5階会議室(神戸市中央区海岸通1丁目2-31 5F 元町駅徒歩7分)

懇親会場: 中国料理店 龍郷(会費: 5,000円)(神戸市中央区栄町通1丁目3-16[中華街内])

毎年恒例、保険医寄席の季節がやって参りました。毎回好評をいただき、おかげ様で4回目を数えます。今回は、初めての演者として2015年に蝶六改め3代目桂花團治を襲名され、今、ノリに乗っている花團治師匠にご登場いただきます。初回から出演の竹林師匠とも相性はバッチリですので大いに期待ください。

また、終了後懇親会にもぜひご参加ください。ひょっとすると高座よりも面白い話が聞けるかも…? さあ大いに笑って2017年もよい年にしようではありませんか! 奮ってご参加ください!
(文化部長 加藤 隆久)

お問い合わせは、TEL: 078-393-1817 兵庫県保険医協会 文化部担当事務局 吉永 まで

参加お申し込み 【FAX: 078-393-1802】

お名前 _____ 医療機関名 _____

【 】人で 懇親会に
参加する TEL _____ FAX _____
参加する 参加しない

兵庫県保険医協会

北播支部

ニュース

2016年12月5日号 No.162

発行者 兵庫県保険医協会北播支部
支部長 横田 裕一

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

～支部学習会 感想文～

予防接種のエッセンスを学ぶ

多可町 松井庄診療所 三宅 岳

北播支部は11月5日、小野市・加東市医師会館で「予防接種 最近の話題～整理しておきたいワクチンの留意点～」をテーマに緊急学習会・交流会を開催。岡藤小児科医院(姫路市)副院長の岡藤隆夫先生が講演し、20人が参加した。三宅岳先生の感想を紹介する。

このたびは岡藤先生から予防接種の基本を学ばせていただくことができました。

常日頃は診察室で、小児から高齢者まで予防接種を行っています。

予防接種は個人免疫と集団免疫の獲得が目的となっております。集団免疫の重要性を日常臨床では忘れがちになりますが、集団免疫率と流行の関係性について疾患別に提示していただき理解が深まりました。

また「記憶に頼らず母子健康手帳で必ず接種歴を確認すること」を話されていましたが、当院では小児は必ず確認していますが、成人まではできておらず、今後は記憶に頼るのではなく実際に確認していきたいと思いました。

ワクチンは疾患予防のために接種を行いますので、神経損傷や障害、過誤接種を生じることとは絶対避けなければなりません。接種手技について、過誤接種事例および対策、有害事象の報告方法、ワクチンの保管方法に関してははいねいに時間をかけてご説明の上、パンフレット(過誤接種のない診療所)も提供していただきました。

世界中には多くの感染症が存在します。その中でも多数の感染症ははまだ予防接種が開発(2面につづく)



岡藤先生は小児患者の体位固定など幅広く解説

(1面のつづき)

されておらず、多くの方が命を奪われています。ワクチンで防げる病気(VPD)があること、接種しなければ疾患が予防できない事実を地域に伝え、理解を得ることがかかりつけ医に求められている大切なことであるように感じました。



その他の主な感想 () 内は職種と経験年数

- なかなか聞くことのできない疑問を皆さんがそれぞれ抱えていることがわかり、興味深かったです。皮下注射の接種部位やワクチンの保管方法など参考になりました。(医師 21年)
- 非常にタイムリーな内容でした。明日からの臨床に役立つと思います。(医師 28年)
- ワクチンの重要性から個別的な説明をいただき、わかりやすくよかったです。再度ワクチンの管理の見直しと接種を進めていきたいと思います。集団接種の重要性も理解できました。(医師 15年)
- 日頃疑問に思っていたことをわかりやすくご説明いただき、ありがとうございました。(医師 30年)
- 日頃の勤務では、予防接種は少ないのですが、基本的なことから確認することができて大変有用でした。今日来れなかった者にも情報を共有したいと思います。(看護師 15年)
- 改めて意識しなおす良い機会になりました。ありがとうございました。(看護師 10年)
- わかりやすい内容で勉強になりました。同時接種でお母さんからの質問が多くあったので(新生児訪問で)、明日からきちんと話をしあげたいと思います。(看護師 20年)
- 予防接種の目的また、接種事故の防止等、再度自分を振り返ることができてよかったです。(看護師 8年)

健康情報テレホンサービス

<12月のテーマ>

<年末年始 12/28 ~ 1/5>

月曜日 冬に流行る乳幼児の嘔吐下痢症 旅行中の薬の飲み方

火曜日 お酒との上手な付き合い方

水曜日 おりもの(帯下)について

木曜日 血尿が出たら

金土日 食べる前にムせる人の訓練法

(祝日は前日の放送が流れます。都合により

テーマの一部を変更する場合があります)

通話料無料 (0120) 979-451



柏木有二先生が評議員会(11/20)で発言

協会は11月20日、協会会議室で第80回評議員会、臨時(決算)総会、共済制度委員会を開催。北播支部からは柏木有二評議員が学習会「予防接種 最近の話題~整理しておきたいワクチンの留意点~」について発言した。概要を紹介する。

先日、岡藤隆夫先生(姫路市)に講演いただいた。注射などの接種手技、過誤接種事例、それを防ぐ対策、有害事象の報告方法、ワクチンの保管方法、小児の患者の体位固定法など実地臨床に役立つ内容で20人の参加者に変大好評だった。ワクチンで防げる病気(VPD)について、地域・患者さんの意識を高め、接種を広げていく役割を担う開業医団体の催しとして好企画だった。

ワクチンは個人を守るだけでなく多くの方が免疫を持つことで集団を守ることができる。国は患者負担増などで医療費や介護費用を抑制しようとしている。本日の朝日新聞でも18年8月から現役世代並み所得の高齢者の介護サービス利用料をこれまでの2割から3割に増やすと報じられていた。しかし、肺炎球菌ワクチンの接種率を上げると高齢者の肺炎防止になるということはすでに明らかになっており、予防医学に関する知識を国民に広げて、結果として医療費や介護費用を引き下げるということを考える必要があるのではないかと。



世話人会だより

第318回 10月19日(水)小野市・加東市医師会館 参加8人

◆北播支部の会員数と組織率

10/19現在 医科173人(86.9%)、歯科86人(63.2%)

◆情勢と医療運動対策

ストップ!患者負担増署名の取り組みについてなどを議論した

◆次回世話人会

12月7日(水)19時30分~ 於・小野市・加東市医師会館

お問い合わせはTEL 078-393-1817 吉永・佐々木まで



☆北播支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail ysng@doc-net.or.jp 担当;吉永まで